

(24) 英 語

1 設置科目及び履修要件 (カッコ内は標準単位数)

総合英語Ⅰ(2~6) 総合英語Ⅱ(3~8) 総合英語Ⅲ(3~8) ディベート・ディスカッションⅠ(2~4) ディベート・ディスカッションⅡ(2~4) エッセイライティングⅠ(2~4) エッセイライティングⅡ(2~4)	新設 新設 新設 新設 新設 新設	原則履修科目 原則履修科目	<p style="text-align: center;">→ ここがポイント!</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「総合英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」 …コミュニケーションを図る資質・能力を一層伸長する。 「英語コミュニケーション」よりもより自律的な学習をめざす。 ○ 「ディベート・ディスカッションⅠ・Ⅱ」「エッセイライティングⅠ・Ⅱ」 …高度な発表、討論・議論、交渉等を通して「話すこと」「書くこと」の力を高める学習の充実を図る。
--	----------------------------------	----------------------	--

2 教科の目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、英語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することをめざす。

→ ここがポイント!

目的や場面、状況、相手の反応などを踏まえた上で、適切な語彙や表現などを選択して活用できる能力を身に付けるための実践的な言語活動の一層の充実が求められる。

3 各科目の内容

総合英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「総合英語Ⅰ・Ⅱ」は「英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ」より少ない支援で学習。 ・ 「総合英語Ⅲ」は「英語コミュニケーションⅢ」を発展させた内容。
ディベート・ディスカッションⅠ・Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「話すこと[やり取り]」の言語活動及び複数の領域を結び付けた言語活動を通して、ディベートやディスカッションなどの「話すこと」を中心とした発信力及び論理的な思考力や表現力を重点的に育成。
エッセイライティングⅠ・Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「書くこと」の言語活動及び複数の領域を結び付けた言語活動を通して、複数の段落からなるエッセイなどを書く事を中心とした、発信力及び論理的な思考力や表現力を重点的に育成。

- ※ 現行学習指導要領の各科目とは全く異なる科目が設定されていることに留意すること。
- ※ 「支援」とは、教員が発話の速度や明瞭さを調整する、使う語句や文などをより平易に言い換える、繰り返したり具体を提示したりするなどの工夫のことである。

4 各科目の履修に関する配慮事項

- 【履修は、次の順序を原則とする。】
- 「総合英語Ⅰ(又は英語コミュニケーションⅠ)」「総合英語Ⅱ」「総合英語Ⅲ」の順に履修すること。
 - 「ディベート・ディスカッションⅠ」「ディベート・ディスカッションⅡ」の順に履修すること。
 - 「エッセイライティングⅠ」「エッセイライティングⅡ」の順に履修すること。

5 小・中学校での内容(主な変更点等)

小学校	中学校	高等学校
・ 600~700語程度の学習	・ 小学校で学習した語に加えて1,600~1,800語程度の学習	・ 小・中学校で学習した語に加えて1,800~2,500語程度の学習
小学校 ←	頻出動詞の過去形及び基本的な代名詞 中学校 ←	基本的な感嘆文及び仮定法

6 新学習指導要領の趣旨や内容に対応した授業の創造

「何ができるようになるか」～英語科において育成をめざす資質・能力～

知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解 実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能
思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> 英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解する力 理解したことを活用して適切に表現したり伝え合ったりする力
学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> 英語の背景にある文化に対する理解を深める態度 聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度

「何を学ぶか」～英語科において重視する学習内容・学習活動～

語彙や文法等の個別の知識がどれだけ身に付いたかに主眼が置かれるのではなく、生徒の学びの過程全体を通して、知識・技能が、実際のコミュニケーションにおいて活用され、繰り返し思考・判断・表現することを通して獲得され、学習内容の理解が深まるなど、資質・能力が相互に関係し合いながら育成されることが必要。

「聞くこと」「読むこと」「話すこと[やり取り・発表]」「書くこと」の力を総合的に育成(必修科目を含む)

総合英語 I・II・III

- 「聞くこと」「読むこと」「話すこと[やり取り・発表]」「書くこと」の力を総合的に育成
- 明確な目標(英語を使って何ができるようになるか)を達成するための構成・内容
- 複数の力を結びつけた統合的な言語活動が中心

学習指導要領に掲げられる資質・能力を確実に育成するための指標形式の目標を段階的に設定

発信力の育成をさらに強化

ディベート・ディスカッション I・II エッセイライティング I・II

- 「話すこと」「書くこと」を中心とした発信力の強化
- スピーチ、プレゼンテーション、ディベート、ディスカッションなどの言語活動が中心
- 聞いたり読んだりして得た情報や考えなどを活用してアウトプットする統合的な言語活動

I → II (III) へ内容の高度化・話題の多様化

生徒が実社会や実生活の中で、自らが課題を発見し、主体的・協働的に探究し、英語で考えや気持ちを互いに伝え合うことを目的とした学習

「どのように学ぶか」～主体的・対話的で深い学びの実現をめざして～

【「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業実践の例】「エッセイライティング I」

	教員からの指示等	生徒の活動
やりとり	話題を提示する。	ある社会的な話題について、グループでブレインストーミングする。
書く	メモを取るよう促す。	ブレインストーミングした内容のメモを取る。
読む	モデルとなる文章例を提示する。	文章例の論理構成や展開を確認する。
書く	原稿の原案を書くよう指示する。	モデルを活用しながら自分の意見に基づき、スピーチ原稿の原案を書く。
書く	理由や根拠の書き方の例を提示する。	スピーチ原稿に、理由や根拠を書き加える。
読む	ペア活動を指示する。	ペアで原稿を交換し、内容の修正や書き間違いの訂正を行う。
発表	グループ活動を指示する。	グループ内でスピーチを行う。
やりとり	英語で質疑応答するよう指示する。	スピーチの内容について質疑応答する。
書く	フィードバックを提供する。	教員からのフィードバックを、自分のスピーチ原稿に反映させる。

※ 授業後にスピーチ原稿を回収し内容を確認後、後日、追加のフィードバックを提供する。